

I 全国・東北の景気動向

1. 業況判断D I の推移（中小企業）

①全業種計

	19.7-9	19.10-12 見通し	20.1-3 見通し
中小企業	▲2.9	▲7.8	▲4.8
小企業	▲26.0	▲32.4	—

②製造業

	19.7-9	19.10-12 見通し
中小企業	▲11.7	▲14.5
小企業	▲37.2	▲35.6

③非製造業

	19.7-9	19.10-12 見通し
中小企業	3.6	▲3.1
小企業	▲24.1	▲31.8

資料：(株)日本政策金融公庫

2. 業種別業況判断D I の推移（小企業）

※（10-12 については見通し）

① 卸売業

19.4-6	7-9	10-12
▲23.8	▲18.8	▲27.6

②小売業

19.4-6	7-9	10-12
▲36.5	▲37.0	▲44.9

③飲食店・宿泊業

19.4-6	7-9	10-12
▲31.1	▲23.0	▲35.9

④サービス業

19.4-6	7-9	10-12
▲22.4	▲28.1	▲32.5

⑤情報通信業

19.4-6	7-9	10-12
▲14.0	2.9	▲9.9

⑥建設業

19.4-6	7-9	10-12
▲4.4	▲2.4	▲9.9

⑦運輸業

19.4-6	7-9	10-12
▲35.4	▲14.9	▲9.0

資料：(株)日本政策金融公庫

3. 東北業況判断D I の推移（小企業）

19.4-6	7-9	10-12 見通し
▲30.7	▲25.5	▲36.3

資料：(株)日本政策金融公庫

※業況判断D I

景気が良いと答えた企業の割合から、悪いと答えた企業の割合を引いた数値。

○小企業の景況は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。

今期の業況判断DIは、前回調査（▲30.7）からマイナス幅が5.2ポイント縮小し、▲25.5となった。

来期は、マイナス幅が拡大し、▲36.3となる見通しである。

II 宮城県内の景気動向

- ・調査時点 2019年9月中旬
- ・調査対象 145企業
- ・有効回答数 108企業
- ・有効回答率 74.5%

<業種構成>

	調査対象	有効回答数
製造業	15企業	14企業
卸売業	20企業	15企業
小売業	36企業	29企業
飲食店・宿泊業	15企業	13企業
サービス業	33企業	18企業
情報通信業	1企業	1企業
建設業	19企業	12企業
運輸業	6企業	6企業

資料：(株)日本政策金融公庫

1. 業況判断D I の推移（全業種計）

	19.4-6	19.7-9	19.10-12 見通し
宮城県	▲24.7	▲46.7	▲50.5
全国	▲26.0	▲26.0	▲32.4

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の業況判断D I（全業種計）は、前回調査に比べてマイナス幅が22.0ポイント拡大し、▲46.7となった。来期については、マイナス幅が拡大し▲50.5となる見込みである。

○業種別にみると、製造業では▲7.1（前回調査 7.1）とマイナスに転換、非製造業では▲52.7（前回調査▲30.1）とマイナス幅が拡大した。非製造業を構成する大分類のうち、卸売業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業、建設業ではマイナス幅が拡大した。

2. 業況判断D I の推移（業種別）

※（10-12 については見通し）

①製造業

19.4-6	19.7-9	19.10-12
7.1	▲7.1	▲28.6

②非製造業

19.4-6	19.7-9	19.10-12
▲30.1	▲52.7	▲53.8

③卸売業

19.4-6	19.7-9	19.10-12
▲7.1	▲26.7	▲40.0

④小売業

19.4-6	19.7-9	19.10-12
▲47.8	▲53.6	▲65.5

⑤飲食店・宿泊業

19.4-6	19.7-9	19.10-12
▲30.0	▲69.2	▲46.2

⑥サービス業

19.4-6	19.7-9	19.10-12
▲31.3	▲66.7	▲61.1

⑦建設業

19.4-6	19.7-9	19.10-12
▲8.3	▲33.3	▲33.3

資料：(株)日本政策金融公庫

3. 売上D I の推移（全業種計）

	19.4-6	19.7-9	19.10-12 見通し
宮城県	▲22.6	▲32.4	▲46.1
全 国	▲20.6	▲21.3	▲27.5

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の売上D I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が9.8ポイント拡大し、▲32.4となった。

○来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

4. 採算D I の推移（全業種計）

	19.4-6	19.7-9	19.10-12 見通し
宮城県	▲21.9	▲26.2	▲27.4
全 国	▲11.2	▲12.3	▲11.6

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の採算D I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 4.3 ポイント拡大し、▲26.2 となった。

○来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

5. 資金繰りD I、借入D I の推移（全業種計）

	19.4-6	19.7-9	19.10-12 見通し
資金繰り DI（宮城県）	▲28.9	▲31.5	▲41.7
借 入 DI（宮城県）	▲7.4	▲8.8	—
資金繰り DI（全国）	▲18.2	▲19.0	▲24.9
借 入 DI（全国）	▲7.1	▲9.1	—

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の資金繰りD I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 2.6 ポイント拡大し▲31.5 となった。来期はマイナス幅が拡大する見通しである。

○民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入D Iは、前回調査からマイナス幅が 1.4 ポイント拡大し▲8.8 となった。

6. 経営上の問題点の推移（全業種計、上位 4 項目）

	19.1-3	19.4-6	19.7-9
売 上 不 振	34.6	37.9	38.9
利 益 減 少	20.2	20.0	17.6
求 人 難	24.0	20.0	25.9
設備老朽化等	3.8	4.2	5.6

資料：(株)日本政策金融公庫

○当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が 38.9%と依然として最も多く、次いで「求人難」（25.9%）、「利益減少」（17.6%）の順となっている。

7. 設備投資実施企業割合の推移（全業種計）

	19.1-3	19.4-6	19.7-9
宮 城 県	9.5	5.3	6.5
前年同期実績との差	-1.4	-5.1	-8.0
全 国	11.2	11.8	13.6

資料：(株)日本政策金融公庫

○設備投資実施企業割合（全業種計）をみると、前回調査から 1.2 ポイント拡大し、6.5%となった。

Ⅲ 利府町、松島町 観光客入込数・宿泊観光客数

1. 観光客入込数

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
利府町	1,795,039	2,119,333	1,578,849	1,495,313	1,679,551
松島町	2,931,249	2,809,753	2,768,840	2,746,785	3,054,759

資料：利府町産業振興課商工観光班、(一社)松島観光協会

2. 宿泊観光客数

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
利府町	13,391	22,179	26,487	25,987	24,665
松島町	618,334	642,277	643,331	609,156	600,052

資料：利府町産業振興課商工観光班、(一社)松島観光協会

参考

松島町 観光客入込数・宿泊観光客数 (平成 31 年)

	令和元年
観光客入込数	2,981,516
宿泊観光客数	569,645

資料：(一社)松島観光協会